

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2023年5月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで61年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2024年5月下旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

**放送批評懇談会**

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS



&lt;お問い合わせ先&gt;

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島  
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F  
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510  
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>

放送批評懇談会



2023年5月度ギャラクシー賞月間賞

**NNNドキュメント'23「国民と国家 ある日 戦争が始まったら」**

4月30日放送 24:55~25:25 中京テレビ放送

国家の戦争に翻弄され、人生を狂わされるロシア国民にフォーカスしたドキュメンタリー。戦争には関わりたくない、と母国から脱出するロシア人たちへの取材を通して「国民のための国家か、国家のための国民か」という問いの切実さが浮かび上がる。国家同士の戦争がどちらの国民にも悲劇をもたらすことを実感させる秀作。

**NHKスペシャル「いのちを守る学校に 調査報告“学校事故”」**

5月7日放送 21:00~21:49 日本放送協会

2005年度以降の学校における事故で8000人以上の児童・生徒が亡くなったり障害を負ったりしているという。しかも同様の事故が繰り返されている。原因究明が足りないこと、教育は各自治体に任されており国が介入しないために事故の原因が共有されにくいこと等の複合的な理由で、経験が生かされていない。地味な番組だが、丁寧な調査報道だった。

**プレミアムドラマ「グレースの履歴」**

3月19日~5月7日放送 22:00~22:50 日本放送協会 オッティモ

亡き妻が愛車ホンダS800のカーナビに残した履歴をたどって旅をする夫。彼が妻の最後の行動に導かれるようにして自分の人生を見つめ直してゆく物語が、尾野真千子、滝藤賢一らの繊細な演技と美しい映像・演出で描かれ、情感溢れる豊かな余韻を残す作品となった。

**ETV特集「市民と核兵器~ウクライナ 危機の中の対話~」**

5月20日放送 23:00~24:00 日本放送協会

旧ソ連時代は核兵器保有国だったウクライナは、独立後核兵器を廃棄した。しかし、“核を保有していれば、今回のロシアの侵攻は防げたのでは”と考える国民は多く、日本生まれの主人公ボグダン・パルメンコも同意見だ。アメリカの元国防長官ウィリアム・ペリーなど世界の識者の話を交えながら、多様で切実な核兵器議論が展開された。

★詳細は月刊誌「GALAC」2023年8月号に掲載します